



わたしの夢

川俣南小学校6年

菅野

啓心^{けいしん}

お父さんのような

大工になりたい

わたしの夢は、お父さんのようにみんなから信頼される大工になることです。私が大工になりたいと思うたのは小さい頃からお父さんの仕事を近くで見えてきて、その真剣にとりくむ姿がカッコよく、なにより、どんな時も笑顔でいられるお父さんを見て素敵な仕事だと思ったからです。大工という職業は、実際に見るまで家などを建てるイメージでした。しかし、近くで仕事があり、連れていってもらったとき、お父さんと話す笑顔のお客さんを見て「大工という仕事は家だけではなく、その家に住む人の笑顔やこれからの幸せを作っているんだな」と思いました。大工は泊りがけで仕事に行ったり、指や手のケガも多かったりと、大変なこともあります。やりがいがあり、何よりたくさんの人を幸せにできる仕事だと思います。お父さんのような大工になるため、一緒に木材や工具を買いに行ったり、木材加工の手伝いなどをして、知識と経験を積んでいきたいと思っています。

町長のひとこと vol.10



おはなしポケット会長の菅田文子さんから20周年記念誌を頂きました。記念誌では、絵本の読み聞かせや紙芝居・人形劇などの「読み聞かせボランティア」活動の20年間を振り返っており、「子どもたちと接する中で、目の輝きや感動、そして笑顔に支えられて続けることができた」といった感想が記されていました。また、面白い物先で子どもたちから「おはなしポケットの人」と声をかけられることも活動の支えになっているということでした。菅田さんは、「お気に入り」の本を見つけ、何度も練習しておはなし会で読み、子どもたちにも喜んでもらえることにやりがいを感じています。おはなしポケットに多くの子どもたちが参加して、読書好きになってもうのが楽しみです」と話してくれました。会員皆様の20年の活動に感謝申し上げます。